

千葉演習林 ボランティア会

Abies 通信 (NO.11)

2006.10.20

もくじ

1. 8月度 (第1回) 定期ボランティア活動報告
高校生のための森と海のゼミナールへのサポート活動
2. 8月度 (第2回) 定期ボランティア活動報告
夏の森林教室へのサポート活動
3. 8月度 (第3回) 定期ボランティア活動報告
歩道修理・その他
4. 11月度 (第1回) 研修および活動のご案内
秋の研修会と作業活動
5. 11月度 (第2回) 秋の一般公開サポートのご案内
6. 演習林 自然観察グループ 案内募集
7. 秩父演習林サポーター「しおじの会」の案内および交流

8月度 (第1回) ボランティア活動報告

高校生のための森と海のゼミナール
～ 自然の中で考える環境問題と生物多様性～

ボランティア 石川 輝雄



「東京大学科学の森教育研究センター(千葉演習林)」と「千葉大学海洋バイオシステム研究センター」の主催で、平成18年8月8日(火)から10日(木)までの3日間にかけて「高校生のための森と海のゼミナール」が行われ、ボランティア会から岩崎さんと石川の2名がサポート役で参加し

ました。

参加した高校生(含む大学生1名)は男性9名、女性10名、計19名で出身校は千葉県5名、東京都9名、神奈川県1名、群馬県1名、栃木県1名、埼玉県1名、京都府1名です。かなり遠くからの参加者がいます。

昨年とまったく同じ天候パターンになってしまったのですが、台風7号が接近して雨模様となり、初日計画されていた「札郷学生宿舎」での宿泊は変更されて、「清澄学生宿舎」となり、プログラムも大幅に変更となりました。



一人一台の顕微鏡でプランクトン観察

初日の8月8日は安房小湊の海岸にある「千葉大学海洋バイオシステム研究センター」で海水中のプランクトンの観察をしました。各自1台ずつ専用の顕微鏡が用意され、使い方の説明を受けて実際に植物や動物性プランクトンを眼で確かめました。

午後は清澄の講義室に戻り、山中(征)先生の「千葉演習林概要」、「ヤマビルの生態研究」、池田先生の「房総丘陵におけるヒメコマツの保護と増殖」、鈴木牧さん

の「ニホンジカの保護について」、「森林と人の関わり」など興味のある講義を受けました。その後「森林博物資料館」の見学があり、明日天気が回復することを願って眠りに入りました。

翌8月9日は台風の余韻の残っている雨模様の天気で野外観察ができるかどうか微妙な状況でしたが、マイクロバスに乗り込んで野外観察を行いました。最初は七里川温泉の先の黄和田畑の「炭焼き小屋」の見学です。炭には白炭と黒炭のあることや炭の効用などについて詳しい説明を受けました。

引き続いて「札郷作業所」に戻り、「入口の谷津田とその周囲の広葉樹林や人工林の観察」および周囲の「シカの植生に対する影響」、天然林として保護されている「堂沢風致林」、ヒメコマツやマツノザイセンチュウに抵抗性をもつマツなどが植栽されている「苗畑」などの説明を受けながらまわりました。

その後札郷作業所で昼食の後、ふたたびマイクロバスに乗って折木沢



傘をさしながら札郷苗畑の見学

から猪ノ川林道に入り、増水で川幅一杯に水が流れている黒滝を見ながら、途中下車して「袋山沢水文試験地」の説明を受けました。続いて周辺の「モウソウチクの開花試験地」、「相ノ沢スギ品種展示林」、50m近くの高さがあるといわれる「牛蒡沢のスギ」の美林などを見学してから郷台林道を清澄宿舎に戻りました。

夕食の後、鈴木(誠)先生の「森のつくり方」、蒲谷先生の「房総の自然」の講義を受け、その後に希望者(実際は全員が参加しましたが)が清澄寺周辺の「夜の森の動物の観察」にでかけました。大杉の下の谷底や天富神社の階段などでシカの姿をみることができ、皆大喜びでした。

最終8月10日は天気が回復して晴天となり、夏のような暑さとなりました。帰り支度をしてから、初日にも出かけた「千葉大学海洋バイオシステム研究センター」に到着しました。

準備をして、研究センターの前の磯に入り、海藻をはじめ、貝、魚、カニなど多彩な海の生物の説明を受けながら十分時間をかけて観察しました。

最後にセンターに戻り、山本林長及び宮崎センター長より、全員に修了証が渡され昼食後解散となりました。

昨年と同様に今年も台風が上陸するというアクシデントもあり、当初計画されていたプログラムと変わりましたが、3日間にわたって盛りだくさんで中身の濃いゼミナールは高校生たちに色々と印象深いものがあったと思います。

高校生も非常に満足して帰りましたが、私たちがそれ以上に満足した感じです。

特に普段なかなか見ることのできない、大雨時の黒滝や猪ノ川林道の様子は印象の強いものでした。



豪快に流れる大雨後の黒滝

8月度(第2回)ボランティア活動の報告

～夏の森林教室へのサポート活動～

ボランティア 岩崎 寿一

今年の夏の森林教室は「親子で川とふれあう ～生きもの観察～」というタイトルで、

猪ノ川渓谷の清流を使って行われました。参加者は千葉演習林の所在する鴨川市や君津市、木更津市など周辺の市町村の市民です。これは地元の皆さんに東大演習林をアピールし、研究教育について理解を深めて頂く為でもあります。今年は特に小学生にも楽しみながら演習林の森林を体験してもらい、川に棲むたくさんの生き物について知ってもらう事を目的としたものです。

開催は当初7月17日(祝)の1日の予定でしたが、評判が良く、定員を大幅に越える多数の応募があった為、7月23日(日)にも追加開催する事となりました。

しかし実際には7月23日は天候が悪く荒天の為中止となり、当日参加予定の親子のために改めて再募集して8月22日(火)に2回目が行われました。

7月17日(祝)は9組23名の方が参加され、ボランティア会からは石川御夫妻、原口さんと岩崎がサポーターとして参加しました。

8月22日(火)は平日にもかかわらず6組13名の方が参加されました。ボランティア会の参加は石川さんと岩崎です。

両日ともJR上総亀山駅10時に集合(演習林のマイクロバスは安房鴨川駅経由で)しました。まず「ようこそ夏の森林教室へ」という文章の入った小冊子が配られました。川の仕組み、緑のダム、環境の話や、猪ノ川渓谷で見ることのできる生き物を紹介したものです。カエルや水生昆虫がカラー写真になっている素適な冊子です。

1日の行動予定の説明が有り、各々が自己紹介をしました。小学生も元気に自己紹介をしてくれました。その後マイクロバスに乗り込んで演習林の黒滝ゲートから猪ノ川に向かいました。

今年は特に水中で生活している生き物をメインに観察する事を目的としておりましたので、まず、川に入る前に橋の上から水中を観察し、小さな石を投げて魚の動きに注目しました。魚が寄ってくるのが良く見えました。次に上流に移ってペットボトルで作ったトラップ(わな)に寄せ餌を入れ、川にしかけました、何処に仕掛けたら生き物がうまく入るか、腕



川の中にどんな生き物がいるかな？

の見せ所です。何が入るかは午後のお楽しみにして、郷台宿舎に行き昼食を食べました。

郷台宿舎の大きな木の下に建っている古風な木造の平屋の建物は皆に好評で、昼休み時間に子供達は“ぶり縄”を使っての木登りに挑戦しました。

午後、再び川に戻って先ほど仕掛けたトラップを引き上げました。サワガニや水生昆虫、ハヤ(ウグイ)、ドジョウなどがかかっていました。何も入っていないトラップも多かった



こんなにいっぱい、川の中の生き物



親子で一緒に魚釣り

のですが、設置場所によってかなり違いがあるようです。この後、水中で生活している生き物を観察する為、大小の網、箱めがね、容器、トレイなど、用意してもらった道具を持って川に入りました。石の下、枯葉や流木などの障害物の下に網を入れ水生昆虫を取ったり、石を裏返してそこにへばりついている小さな虫を取りました。ヤゴ、カゲロウ、カワゲラ、プラナリア、ハヤ、ドジョウ、そして怖そうなヘビトンボもたくさん取れました。虫はトレイに入れて観察しました。

演習林のスタッフの方に名前を聞いたり、見分け方を教わったり、又きれいな川には色々な生き物が生息していて、そのような環境を維持保存する事が大切である事を教わっていました。

最後は、子供達に手作りの釣り竿が渡されて、待望

の魚釣りです。えさは先ほど観察した水生昆虫などです。つりは全く初めての子もいましたが、上手な子はすぐにハヤを釣り上げました。親子ともども皆さん各様に釣りを楽しみました。

最後に、捕まえた魚などの生き物を全て放してからマイクロバスに乗って、JR上総亀山駅に戻りました。親子またはおじいさんと孫の組み合わせでのふれあいの中で共に、豊かな自然がどんなに素晴らしいか、皆さん十分に体験された様子でした。がんばりすぎて疲れた様子もありますが、来年もまた来るよと言って皆が帰路につきました。

8 月度（第 3 回）ボランティア活動の報告

～ 歩道修理・その他～

ボランティア 西山 康利

8 月 24 日（木）から 26 日（土）までの 3 日間にわたり定期ボランティア活動と 9 月に行う予定のお月見研修コースの下見を行いました。

3 日間とも蒸し暑い日ではありましたが、なんとか雨にならずに活動することができました。参加者は当初は岩崎、石川、相川、野崎さんと西山の 5 名の予定でしたが、岩崎さんは都合で 24 日と 25 日の参加、26 日に参加する予定の野崎さんは体調をくずされて欠席となりました。

初日の 24 日には天津小学校の“緑の教室”のフィールドである毘沙門 41 林班 C₄ 小班（通称：天津小の森）の傾斜地の下刈りを予定していましたが、職員の永島さんが下見をした



筋肉痛になりそうな側溝手入れ

ところ、ハチが多くみかけられたので今回は中止して、近くの毘沙門 41 林班 C₄ 小班（一杯水林道）の側溝の手入れをしました。

この場所は 7 月、8 月の雨で斜面の土砂や林道の落ち葉、枯れ枝で側溝が埋まり役目をしていない状況になっていました。また一部分は斜面の土砂崩れで林道の半分程が埋まっている所もあります。

ふだんあまりスコップや運搬用の一輪車の使用には慣れていないので最初はきつかったですが、段々のはかどり午前中ですっかり綺麗になりました。しかし、これもまた大雨があればたちまち埋まるのではないかと心配もあります。

清澄作業所に戻って昼食の後、午後は清澄作業所の入口の左側の小山に祭られている“山の神様”の参拝路の階段の修理をしました。かなりの急坂で、丸太の階段になっていますが、いくつかは完全に腐っていてぼろぼろ状態でした。今までの道路補修の経験も生き、材料や道具も近くにあることで、2 時間位で終了しました。参拝に登るときに楽になると思われ、山の神様にも喜んでもらえたと思います。チェーンソーですべり止めの溝も入れたので完璧です。

作業が予定より早めに終了したため、石川さんが前から気になって参拝したいと言って

いる清澄八山の一つである宝珠山（別称：毘沙門山）へ参拝することにした。宝珠山は清澄寺の横の林道側にある消防倉庫の横の道を一登りするところにあるそうですが、誰も見た事がなかったので皆即賛成ででかけました。約20分程度で登れ、杉の大木の古株の中に祠があり、その中に毘沙門天が祀ってあるとのことでしたが、のぞいても暗くてよく見えませんでした。ここも「ヤマビル」が多いのでそうそうに退散しました。

下山したとき偶然、前会員の酒巻さんに会いました。今まで体調を崩して療養しているとのことでしたが、大変元気になったように見受けられました。活動に早く復帰されることをお願いして別れましたが、皆心配していただけに毘沙門天のご加護と感謝しました。

夕食はアメリカから来られた女性研究生とペルーの男性研究生を囲んで国際的で賑やかな夕食でした。アルコールも適度に入り打ち解けた時間を過ごすことが出来て本当に有意義な時間でした。

女性研究生は米国へ侵入している害虫である「アオナガタムシ」を研究しており中国、韓国と廻って日本に来たそうです。奥さんの立場でありながら単身世界を廻って研究されている熱意とパワーには驚くばかりでした。

ペルーの男性研究生は横浜国立大学・環境情報学科に在籍して「タイミンタチバナの個体群調査」をしているとのこと、昨年末に日本に来られたようですがとても日本語が上手で驚きました。

翌25日は職員の村川、算用子さんも同行され、郷台宿舎の清掃を行いました。郷台宿舎の清掃は6月の活動でも行っており、今回は皆要領が良く分かっているので順調に進みました。前回十分にできなかった部分の掃除も出来てよりきれいにすることができました。設備もシャワー室・トイレの新設、畳の入れ替えで環境は以前に比べると数段環境は良くなりました。我々も9月のお月見研修でさっそくお世話になるので特に力が入ったように思います。掃除は午前中で終了し、準備してもらった弁当を食べました。

作業が予定より早く終わったので、午後には明日に予定していたお月見研修の下見を繰り上げて行うこととして、郷台宿舎 柚ノ木歩道入口 地蔵峠 元清澄山分岐 元清澄山 元清澄山分岐 郷台林道 清澄作業所までのコースへ出発しました。

村川、算用子さんに見送られ郷台宿舎を出発しました。

柚ノ木歩道は春・秋の一般公開のコースですが登りきってから、地蔵峠までの尾根道の



毘沙門天が祀ってある杉の古株

距離がかなり長く感じ、郷台宿舎 地蔵峠まで約1時間位かかってしまいました。

地蔵峠 元清澄山分岐までは1時間20分程かかりましたが、その間は展望の良い所もほとんどなく、特に珍しい生き物にも遭遇しませんでした。ただキノコ類はかなり発生していて面白い形のものもあり石川さんがデジタルカメラで



きのこいろいろ

撮影していました。コースの後半部はかなり土砂が崩れている場所もあり、雨上がりの場合はかなり危険だなと感じました。

約1時間はかかると言われている元清澄山への往復はあきらめ、一休みの後に郷台林道の第2ゲートへ向かいました。この間の林道はイノシシが食べ物をあさったような跡が点々と残っているなどと思って歩いているときに、第2ゲートの近くで突然イノシシの親子が現れ「うりぼう」より少し小形の子供が5匹位居ました。なんと親は子供を残し、坂の上へ逃げて子供は路頭に迷ってさわいでいました。薄情な親だと現代の世相を思い嘆かわしかったですが、後で職員の大塚さんに聞いたところ、イノシシの子供に手をだしたら、子供が警戒音をだすので、これを親が聴いたら戻っておそってくるとのこと、習性を良く知らない危険だなと感じました。

郷台林道に入って間もなくシカが林道を横切ったりしました。今日は本当に珍しく動物に遭遇する日です。この林道はいつも車で通っていますが歩くと目線が低くいつもの感じとは異なり眺めの良い場所が多数ありました。

午後1時に郷台宿舎をでて、かなりハイペースで歩いたのですが、清澄作業所に着いたのは午後5時近くとなりました。今回の下見はかなり疲れしました。

翌日の26日は朝食後、清澄宿舎で村川、算用子さんをまじえてミーティングをおこないました。お月見研修の研修コースについては、昨日の下見の結果を踏まえ、元清澄山をまわるコースはあきらめ、郷台宿舎周辺の観察のみとして郷台林道を往復することにしました。また秩父演習林サポーター（ボランティア）しおじの会の秋の一般公開時の来林をはじめとして他にも演習林で自然観察などをしたいという団体に対する体制についても意見交換をしました。

後に清澄宿舎で準備してもらったお弁当をいただき宿舎を後にしました。

2泊の活動は初めてだと思いますが、関係者の方々に大変お世話になりました。

今後とも宜しく願いいたします。

11月度(第1回)研修および活動のご案内

秋の研修会と作業活動

7日は千葉演習林職員の研修報告などが行われる「秋の研修会」を聴講します。8日は作業を行います。7日または8日のみの日帰り参加もできます。

- 日 時** 平成18年 **11月7日(火)~8日(水)**(宿泊)
- 集 合** 清澄作業所 講義室 11月7日 10:00
- 解 散** 同 8日 16:00頃
- 内 容** *11月7日 10:00~16:30 秋の研修会(清澄講義室)昼食会あり。
今回は夜の懇親会はありません。
*11月8日 9:00~16:00頃まで 作業活動(内容別途連絡)
- 宿泊場所** 清澄学生宿舎(04-7094-1990)
- 参加費** *11月7日のみ参加 400円(昼食代)
*11月7日~8日参加(宿泊) 2,640円(7日昼食代400円を含む)
*11月8日のみ参加 不要、ただし当日の昼食は用意してください。
- 人 数** 9名程度(原則として先着順)
- 持 ち 物** 筆記用具、飲み物、野外活動ができる服装、靴(登山靴などしっかりしたものか長靴、地下足袋のいずれか)、軍手、タオル、雨具、リュック、敷物、保険証、常備薬、会員証、宿泊用の道具など
- 雨天時** 状況により対応
- 受付期間** 10月24日(火)~10月31日(火)
- 申込方法** 電話、FAX、E-mailのいずれか
- 申込、お問い合わせ先**
千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局
(活動要項参照、参加には年度ごとの会員登録が必要になります。)

11月度（第2回）秋の一般公開サポートのご案内

秋の一般公開には、毎年数多くの方が紅葉に囲まれた渓谷沿いの自然を楽しみに来られます。皆様のサポートをお願いします。

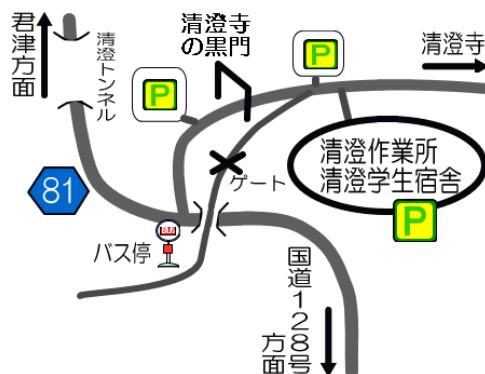
なお、他に連絡電話の架設作業などの準備作業手伝いが予定されていますが、これについては別途案内します。

日 時 平成 18 年 **11 月 23 日**（祝） **25 日**（土） **26 日**（日）

12 月 2 日（土） **3 日**（日）（各日帰り）

集 合 天津事務所 7：10 清澄作業所 7：30
君津市折木沢地先黒滝ゲート手前の加勢林道入口 8：30
のいずれか（集合後、奥の駐車場に移動）

遅刻しないようにお越しください。



*加勢林道入口の地図が欲しい方は事務局へ連絡下さい。

解 散 黒滝ゲート 16：30 頃、清澄作業所 17：00 頃、天津事務所 17：20 頃

内 容 ・受付（チラシの配布、入林者のカウント） ・マナー指導
・ゴミ拾い など……

人 数 1日あたり6名程度 希望者が多い日はこちらで調整します。

持 ち 物 防寒具（とても寒いです）、カイロ、昼食、飲み物、傘、会員証など

雨 天 時 雨天の場合は入林者が少なくなりますので、職員のみに対応となります。天気予報により、ボランティア活動が中止の場合は前日の午後8時までに参加予定者に連絡をします。（荒天でない限り公開はします。）

受付期間 11月1日(水)～11月10日(金)

申込方法 電話、FAX、E-mail のいずれかでお申込下さい。
その際、希望日(複数日あれば第一希望から順に)と集合場所をお知らせ下さい。

申込、お問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局

(活動要項参照、参加には年度ごとの会員登録が必要になります。)



演習林 自然観察グループ 案内募集

千葉コープの皆さんが演習林で日帰りの自然観察会を行い、ボランティア会 Abies で案内をします。つきましては下見および当日の案内の手伝いをお願いできる会員を募集します。未経験者でもお手伝いできますのでよろしくをお願いします。

日 時	平成18年 12月7日 (木) 日帰り
集 合	清澄作業所 10:00
解 散	同 15:00 頃
内 容	清澄寺及び浅間山周辺(下見の結果で多少変更があるかも知れません。)
人 数	3名程度 (原則として先着順)
持 ち 物	筆記用具、昼食、飲み物、野外活動ができる服装、靴(登山靴などしっかりしたものか長靴、地下足袋のいずれか)、軍手、タオル、雨具、リュック、敷物、保険証、常備薬、会員証、など
雨 天 時	状況により対応

受付日限 11月20日(月)

下見 平成18年**11月27**日(月) (雨天の場合11月28日(火))
集合は 清澄作業所 11:00
他の項目については12月7日の当日と同じです。
下見のみまたは当日のみの参加も可能です。

その他 下見、当日ともに相川と石川が千葉コープが準備するバスで千葉市から同乗して案内します。

申込方法 電話、FAX、E-mailのいずれか

申込、お問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局

(活動要項参照、参加には年度ごとの会員登録が必要になります。)

秩父演習林サポーター「しおじの会」の 案内および交流

東京大学秩父演習林(埼玉県秩父市)にもボランティアの会「しおじの会」があります。千葉演習林ボランティア会 Abies の姉妹団体と言えるでしょう。そのメンバーが千葉演習林の一般公開に合わせて見学および交流をしに来ます。受け入れ側として、紅葉シーズンの千葉演習林を案内したり、清澄宿舎にて交流会を行ったりしたいと思います。さまざまな情報交換ができると思いますのでぜひ予定を空けておいてください。詳細は後日お知らせしますので概略のみお伝えします。

日時 平成18年**11月24**日(金)~**25**日(土)

内容 24日 千葉演習林の案内(車利用)および交流会

25日 一般公開区間の案内(徒歩)

宿泊 24日の夜 清澄学生宿舎(予定)

=====

千葉演習林ボランティア会 Abies通信 No.11 2006/10/20 発行

*事務局 〒264-0032 千葉県千葉市若葉区みつわ台 3-1-2-102 石川輝雄

*東京大学千葉演習林 〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770 TEL:04-7094-0621

FAX:04-7094-2321 E-Mail:chiba@uf.a.u-tokyo.ac.jp

<http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/chiba/>